

神経研究所
(NIN)疾病研究第二部・
部長就任のご挨拶疾病研究第二部
部長 小山 隆太

2024年4月に疾病研究第二部の部長に就任いたしました小山隆太です。東京大学での長年の基礎研究を経て、今後は当センターにおけるトランスレーショナルリサーチの推進に努めてまいります。その意気込みを込めて、研究室の英語名称は「Department of Translational Neurobiology」と名付けました。

私はこれまで、神経細胞とグリア細胞の相互作用に焦点を当て、てんかんや自閉スペクトラム症をはじめとする様々な脳疾患の分子細胞生物学的メカニズムの解明に貢献してき

ました。新しい役職では、これまでの基礎研究成果を臨床応用に繋げるべく、スフェロイド培養技術などを活用した研究を推進します。

疾病研究第二部としては、センターの皆様と積極的に連携し、共同研究を通じて新たな治療法の開発に挑んでいく所存です。新しいチャレンジに向けての期待と共に、皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。これからの活動にご期待ください。

精神保健研究所
(NIMH)精神薬理研究部
部長 池田 和隆

精神薬理研究部の体制とミッション

精神神経疾患の治療において、薬は大きな役割を果たしています。精神神経疾患の多くではその病態メカニズムが解明されていませんが、薬という化学物質がどのように治療効果を発揮するのかを調べるのが、病態メカニズム、ひいては脳機能メカニズムの分子レベルでの解明に繋がってきています。一方、薬には副作用があり薬の感受性には個人差があるので、治療薬を適正に使用するためには薬理学的な研究が欠かせません。治療薬がまだ無い精神神経疾患も多く、治療薬があっても効果が限定的な場合も多いので、新規治療薬の開発が求められています。

精神薬理研究部では、分子精神薬理研究室と

向精神薬研究開発室を設置して、①精神神経疾患治療薬の作用機序の研究、②精神神経疾患治療薬の適正使用に資する研究、③精神神経疾患治療薬の新規開発研究、に取り組んでいます。また、上記の取り組みと関係する全国の産官学における研究が発展するように当該領域の研究基盤を整備して、精神神経疾患治療薬の適正使用と新規開発において、日本が世界に貢献することを目指しています。



National Institute of Mental Health

NCNP 診療ニュース

ご あ い さ つ

精神保健研究所
所長就任ごあいさつ2024.7
Vol.41

診療科紹介

総合外科部

各部門紹介

地域連携医療
福祉相談室
.....
薬剤部

活動紹介

神経研究所
.....
精神保健研究所

精神保健研究所 所長就任ごあいさつ



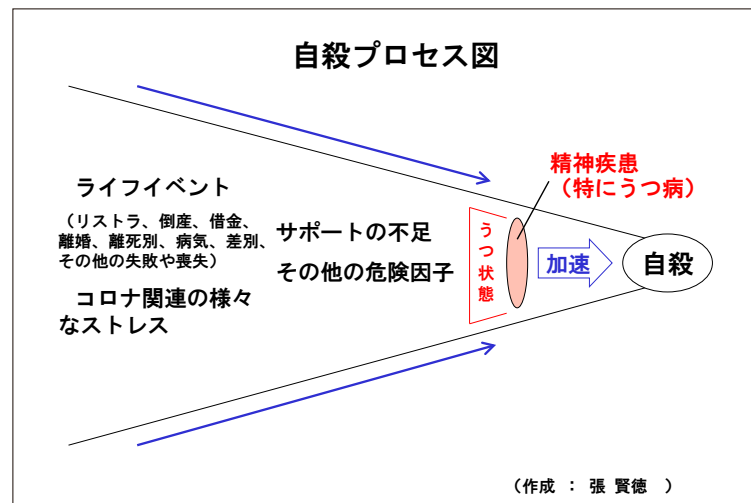
精神保健研究所 所長
張 賢徳

本年4月1日より当センター精神保健研究所長を拝命いたしました張賢徳と申します。1991年に東京大学医学部医学科を卒業し、同年から帝京大学精神科学教室に入局し、精神科医の道を歩んできました。1992年から英国ケンブリッジ大学精神科大学院にも所属し、97年に同大学の博士号(PhD)を取得しています。その時から現在に至るまで、主たる専門は自殺学で、人はなぜ自殺するのかという大きな問題に取り組んできました。自殺と精神疾患の関係は深いです。自殺で亡くなる人の90%近くが何らかの精神科診断がつく状態であったことが判明しています。自殺に至るプロセス(図)の最終段階では精神医学的な問題が大きく関係してきます。自殺防止という点では、精神医学的治療のさらなる向上が求められます。同時に、例えばうつ病の人でも自殺する人とならない人がいますので、なぜ自殺が起こるのかについて、生物学的なことも含めて研究を一層推進していく必要があります。

一方、自殺のプロセス図に記された通り、最終段階に至るまでには、サポートの不足を始めとした社会的な要因が大いに関係してきます。プロセスの入り口のところにはネガティブなライフイベントがあります。それ自体を変えることは難しいのですが、ネガティブなライフイベントに遭遇した時の抵抗力(個人的なレジリエンス)や、困っている人を助けるサポート(社会的なレジリエンス)は、広い意味でメンタルヘルス(精神保健)の問題です。

このプロセス図はすべての精神疾患に当てはまると思います。最後の「自殺」をあらゆる精神疾患に置き換えることができます。私がこれまで取り

組んできたことは自殺予防が中心ですが、そこで培われた視点を大いに活用し、今後はメンタルヘルス全体を視野に入れたいと考えています。所長として、働きやすい職場環境作りに努め、精研全体のパフォーマンスの向上を支えます。また、NCNPファミリーの一員として、神経研究所との交流、病院との交流にも努めます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



NCNP
病院
診療科紹介

総合外科部



NCNPにおける 総合外科部の役割

総合外科部は2007年4月に発足した外科部門を前身とし、国立精神・神経医療研究センターが独立行政法人化した2010年に組織改革の一環として外科・整形外科・歯科口腔外科を併合して総合外科部として再編成されました。現在は外科2名、整形外科2名、歯科2名の総勢6名で診療に従事しています。

当院は精神・神経疾患に特化したセンター病院であるため、当科の役割は他院の外科とは異なり院内発症の疾患に対する処置・手術を中心に、精神科・脳神経内科を側面からサポートする役割を担っています。特徴としては嚥下困難や呼吸器関連に対する胃瘻造設・交換、胸腔内トロッカー挿入、気管切開などが、また長期入院・臥床の高齢者に対しては経皮経肝胆道ドレナージや褥瘡処置などのプライマリーケアが多いことです。一方で外科のメンバーはいずれも長年にわたり大学病院やセンター病院で消化器手術を専門に行ってきたため、他院では併存する原疾患のため手術適応外とされる患者さんでも麻酔科の協力を得て手術時間の短縮など、よりコンパクトな手術を心掛け、年間数例ではありますが消化器癌の手術も行っています。整形外科では他院では取り扱わない神経難病・精神疾患患者の手術に加え、高難易度の手の外科手術をおこなっています。今年度から歯科口腔外科を担当する真田医師がチームに加わり、より充実した診療体制を整えることができました。入院中の精神・神経疾患及び発達障害を伴う患



総合外科部長 緑川 泰

者さんに対して原疾患による臨床症状に配慮した歯科・口腔外科領域の治療および予防を行っています。

当科では総合外科の当院における役割を踏まえ、各科の垣根を越えた、科横断的な診療を目指しています。原則として毎週金曜日のカンファレンスで外科的処置が必要となる症例の呈示を各科にお願いしていますが、緊急を要する場合はもちろんのこと、待機的な処置・手術が必要となる患者さんのご相談も随時受け付けて対応しています。また、通常健康診断を受けていない患者さんに対してはご希望に応じて無症状でも消化器癌の検診を行うなど、長期入院を余儀なくされている患者さんにより高いQOLを目指した治療をご提供できるよう、日々努力していきたいと考えています。



地域連携医療 福祉相談室

第一医療社会事業専門職 澤 恭弘

新医療連携福祉相談部長着任のご挨拶

令和6年4月に三山副院長(医療連携福祉相談部長)が退任し、新たに吉村直記部長が着任しました。昨年度からの副室長3名体制(脳神経内科医長 坂本崇、脳神経小児科医長 齋藤貴志、精神科医師 稲川拓磨)は変わらず、より専門領域のご相談に対応できるようになりました。

コロナ5類移行後も、引き続き幅広い地域の先生方よりご紹介をいただいております、感謝申し上げます。

当院の患者さんの居住地は、多摩地域が約5割、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県が約4割となっています。ナショナルセンターのミッションを果たしつつ、地域に根差した医療の提供と充実を目指し、関係者の皆さんとさらに密な連携がとれるよう、より一層「顔の見える関係」を作っていきたいと考えています。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

吉村新部長からのご挨拶



本年4月より、当部に着任いたしました吉村と申します。現在精神リハビリテーション部との併任ではありますが、多くのスタッフとともに、組織の改革を進め、より患者さんのニーズに沿った、円滑な地域連携を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

NCNP病院
各部門
紹介

薬剤部

薬剤部 勝海 学

専門性の高い薬物療法支援・人材育成を推進します

医療の現場では、高度化や複雑化に対応するために、多職種が高い専門性を発揮し合うことで、状況に応じた適切な医療を提供することが求められています。

薬物療法においてもチーム医療における薬剤師に期待される役割はこれまで以上に高まっており、病棟で薬剤師が常駐して業務を行うことは診療報酬上でも評価されています。当院では常駐といえる人員配置にまでは至ってはおりませんものの、病棟薬剤業務実施加算の算定を開始し、非算定病棟も含め適切な薬物療法支援が実践できるように努めています。また、当院には、精神領域の薬物療法に関して、より高度な知識や技術を備え、薬物療法を有効かつ安全に行うことのできる認定資格を取得する薬剤師がいます。今年度はこの人材を活用することで薬学生実務実習や卒後薬剤師のキャリアアップ研修を強化し、より専門性の高い人材育成が可能な研修機関としての役割を担っていければと考えています。



患者さん優先 無料シャトルバスの のりばのご案内



発着所



西武新宿線・拝島線 多摩湖線

Seibu Shinjuku Line, Haijima Line,
Tamako Line

萩山駅

“Hagiya” Station

南口・ロータリー前
In front of rotary at South Exit

萩山駅発	
8時	30
9時	00 45
10時	15 45
11時	15
12時	45
13時	15 45
14時	15 45
15時	15
16時	15



国立精神・神経医療研究 センター病院

National Center Hospital,
National Center of Neurology and Psychiatry

NCNP 病院

NCNP Hospital

ロータリー前
In front of rotary

病院発		
	新小平駅方面	萩山駅方面
9時	10 50	40
10時	20 50	10 40
11時	20	10
12時	50	40
13時	20 50	10 40
14時	20 50	10 40
15時	50	10
16時	20	10



JR 武蔵野線

JR Musashino Line

新小平駅

“Shinkodaira” Station

けやき歯科クリニック付近
Near Keyaki Dental Clinic

新小平駅発	
8時	15 45
9時	20
10時	00 30
11時	00 30
12時	30
13時	00 30
14時	00 30
15時	00
16時	00

【お問い合わせ先】

国立精神・神経医療研究センター病院 広報室➡TEL:042-341-2711 (内線 5601)

平日(月～金曜日)のみ運行致します
土日祝日は運休となります

マイナ保険証について

財務経理部医事課
金子 照慶

従来の保険証は令和6年12月2日をもって廃止されることが決まっており、現在、政府はマイナ保険証への移行を進めています。

マイナ保険証を利用すると以下のようなメリットがあります。

- 医療機関を受診した際に、お薬の情報や健診結果の提供に同意すると、医師等からご自身の情報に基づいた総合的な診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。
- 高額な医療費が発生する場合でも、マイナンバーカードを保険証等として使うことで、ご自身で高額な医療費を一時的に自己負担したり、役所で限度額適用認定証の書類申請手続きをする必要がなくなります。
- マイナポータルから保険医療を受けた記録が参照できるため、領収証を保管・提出する必要がなく、簡単に医療費控除申請の手続きができます。
- 就職・転職・引越後も新しい健康保険証等の発行を待たずに、医療機関・薬局で利用できます。

当院でもマイナ保険証の受付機を設置していますので、ぜひご利用ください。

また、今後、電子処方箋にも対応予定です。電子処方箋を利用すると下記のようなメリットがあります。

- 「電子処方箋管理サービス」というシステムに登録された自身や家族が服用している薬の情報を、医師・薬剤師等がデータで確認できるようになり、お薬手帳を忘れてしまった場合でも曖昧な記憶に頼ることなく服用している薬を医師等に伝えることができます。
- 患者さんと看護にあたる家族の間での処方箋受

け渡しや、薬局来局時に処方箋を忘れて自宅へ取りに戻るようなことがなくなります。また、薬局に行く際、事前に引換番号を伝えることで、薬局側は複数の薬を服用時点ごとにまとめて飲みやすくする一包化に前もって取りかかることができるなど、薬局での待ち時間短縮に繋がります。

- 医療機関・薬局から登録された処方・調剤情報をすぐに閲覧することができます。また、マイナポータルを通して患者自身が閲覧できる電子処方箋の処方・調剤情報を、アプリ上に表示することができる電子版お薬手帳アプリも登場しています。検索機能、服薬アラーム機能やアレルギー・副作用の情報記録機能と組み合わせることで、自分の健康管理に役立ちます。

患者さんの利便性向上のため今後も様々な取り組みを進めていきます。



NCNPプレスリリース (<https://www.ncnp.go.jp/topics/>)

- 視神経脊髄炎の重症度・脳萎縮と関連するB細胞の特徴を解明：
～血液中のCD11c high B細胞に基づく理解～
- 睡眠を妨げる習慣を定量化する鍵に
～就寝を先延ばしする傾向を測定する日本語版尺度を開発～
- 心的外傷後ストレス障害(PTSD)の分子機構の解明
—cAMP 情報伝達経路の過活性化がPTSDの原因となる—
- 動作中に手で触れる物の感覚を感じにくいのはなぜか?の仕組みを解明
- 神経性やせ症(拒食症)の脳機能異常を網羅的に解明
世界初 多施設共同研究によるfMRI データの大規模解析
- 縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチー(指定難病)に対する世界初のウルトラオーファンドラッグ、アセノベル®徐放錠500mgの製造販売承認を取得
- Ku 抗体筋炎の特徴を明らかに
- 神経変性疾患の末梢血ではエオメス陽性の神経細胞障害性T細胞が増加している
～バイオマーカーおよび免疫治療の標的としての意義～
- ナショナルセンター2機関のバイオバンクが国内初の国際規格の認定を受けました



Nature



NCNP四季便り

トランスレーショナル・メディカルセンター
永井 秀明

ノウゼンカズラ(凌霄花)

夏、オレンジ色の花が木に絡んで咲いているのを見かけます。

センターでもユニバーサルホールの裏手、楓の木の下あたりに毎年咲きます。

夏の盛りから初秋まで、花が少ない時期に長く咲いて目を楽しませてくれます。

ずっと日本在来の植物だと思っていたのですが、中国原産の外来種だそうです。

でも渡来したのは平安時代とか。

すでにじゅうぶん日本の夏の景色になっていますね。

